

# 「投資信託に関する意識調査」

本調査では、投資信託や証券投資支援制度を活用した取組み状況を把握し、今後の資産運用・資産形成を支援するための情報提供を目的とし、アンケートによる調査を行った。

## 調査結果の要点

投資信託の保有者率は2019年度を底に小幅な上昇傾向にあることが確認できた。年代別の投信保有者率を見ると、他の年代と比べ20代、30代の増加幅が大きく、これらの世代において投資信託の活用を通じた資産形成の広がりが見られた。

投資信託を保有するきっかけとして、20代、30代ではNISA制度、特に「つみたてNISA」の割合が高く、これらの制度が資産形成をはじめめるための一助となっていることがうかがえる。

一方、投資信託を保有していない理由については「投資をする資金がないから」「何を買ってよいかわからないから」「損をする可能性が高いと思うから」が上位を占める結果となった。こうした理由を考慮すると、投資信託のさらなる普及のためには、少額から投資ができることや、商品・制度などの解説をはじめ、投資することのメリットやデメリットなど生活者の目線に立ったわかりやすい情報提供が必要であると言える。

- 特に20代から30代において、投資信託の活用を通じた資産形成が拡大
- 投資信託を保有するきっかけとして最も多い理由は「預金金利が低いから」、20代、30代では「つみたてNISA」が投信保有のきっかけとの回答が多い
- 投資信託を持っていない3大理由は「投資をする資金がない」「何を買ってよいかわからない」「損をする可能性が高いと思う」
- 積立投資をする理由は「預金よりも利益が期待できる」との回答が過半数を占める
- 積立投資をしている人の毎月の積立額は、1万円～2万円が最も多い
- 金融リテラシー・テストの正答率は年代が上がるにつれて高く、前回調査と比べ、どの年代でも上昇

## 調査対象

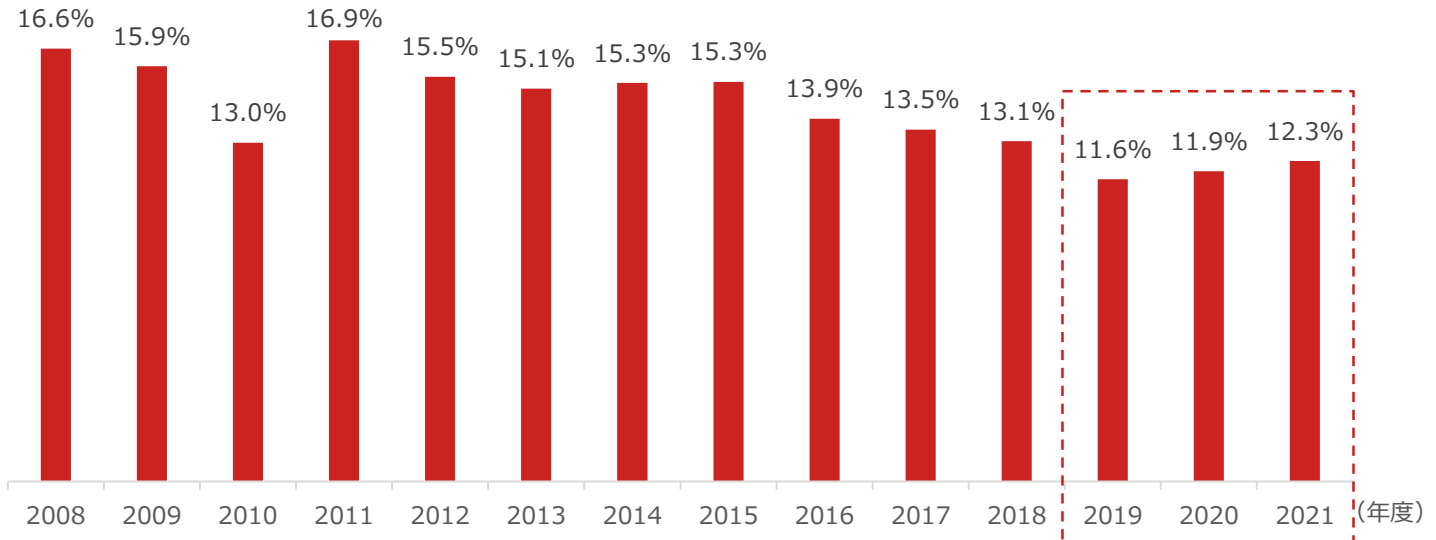
20歳以上の24,153名を対象に、インターネットによる調査を2022年3月22日～28日に実施。詳細は巻末の「調査概要」を参照。

## 投資信託の保有状況

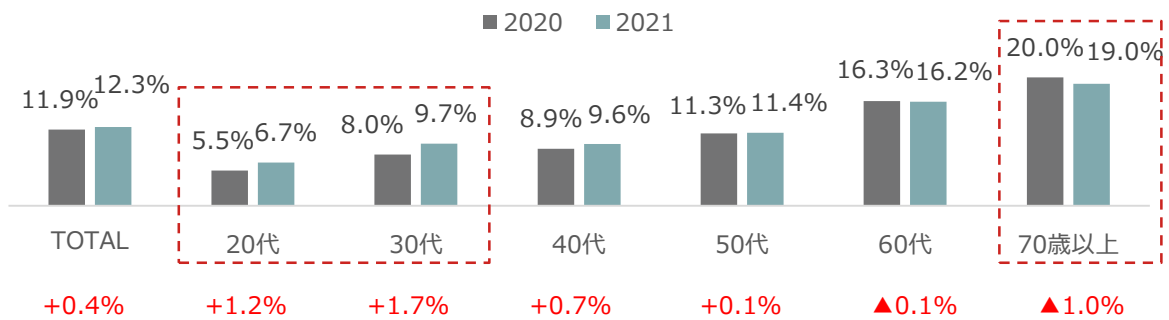
- 投信保有者率は2019年度を底に小幅な上昇傾向にある
- 年代別の投信保有者率は、2020年度と2021年度の調査を比較すると、20代、30代が増加、70歳以上が減少

Q) 現在、あなたの世帯で保有されている現金及び金融商品は、どのような配分になっていますか。合わせて100%になるようにお答えください (全体 n=24,153)

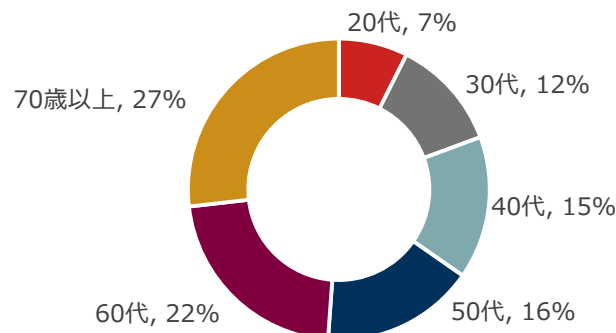
投資信託保有者率の推移



年代別 投資信託保有者率 (前年度比較)



投信保有者の年代別構成比 (2021年度)



## 投資信託の保有のきっかけ

- 投信を保有するきっかけは「預金金利が低いから」が38%と最多であり、年代が上がるにつれ、その割合が高い
- 投信保有者のうち、20代の半数以上が「つみたてNISA」を保有のきっかけと回答

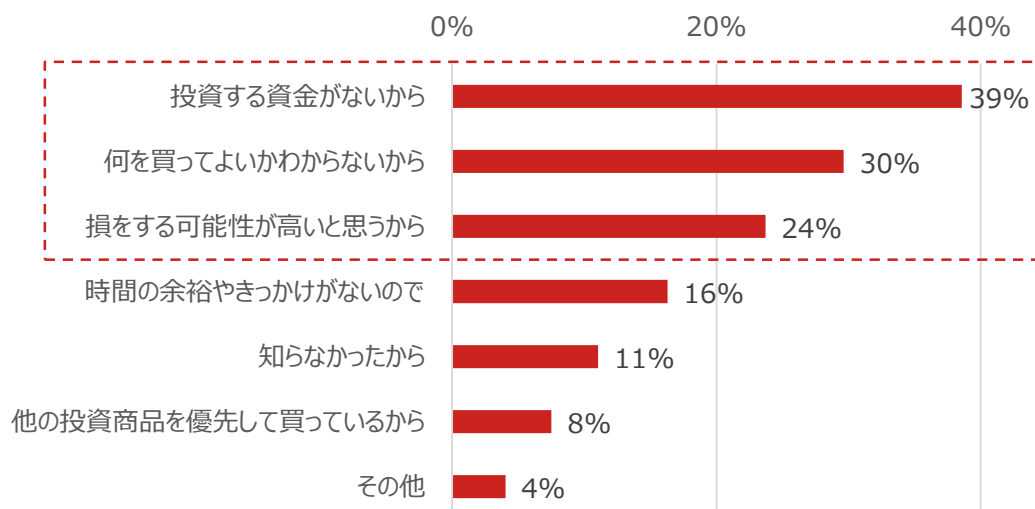
Q) 投資信託への投資を始めたきっかけは何ですか（複数回答、投信保有者 n=14,402）

	TOTAL	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1 預金金利が低いから	38%	21%	30%	32%	37%	40%	47%
2 一般NISA	27%	22%	29%	27%	25%	27%	29%
3 余裕資金ができたから	23%	13%	18%	21%	24%	26%	25%
4 金融機関からのすすめ	22%	6%	8%	12%	19%	28%	36%
5 ネットで気軽に投資ができるから	21%	36%	37%	29%	23%	13%	11%
6 つみたてNISA	17%	56%	38%	22%	14%	6%	4%
7 退職金の運用のため	12%	4%	3%	3%	5%	18%	23%
8 投資信託の手数料が低くなってきているから	9%	13%	13%	12%	11%	7%	5%
9 ポイントが付与されるから	9%	28%	21%	13%	7%	2%	2%
10 老後資金2,000万円問題	8%	13%	13%	9%	8%	5%	5%
11 iDeCo	6%	11%	16%	13%	8%	2%	0%
12 相続資金の運用のため	5%	4%	3%	3%	5%	8%	6%
13 企業型DC	4%	7%	8%	6%	4%	2%	1%
14 SNSやYouTubeなどを見て	3%	14%	9%	4%	1%	0%	0%
15 SDGsやESGへの関心	1%	4%	2%	1%	1%	1%	1%
16 その他	3%	3%	3%	4%	4%	3%	2%

## 投資信託の非保有理由

- 投信を保有していない3大理由は「投資する資金がない」「何を買ってよいかわからない」「損をする可能性が高いと思う」

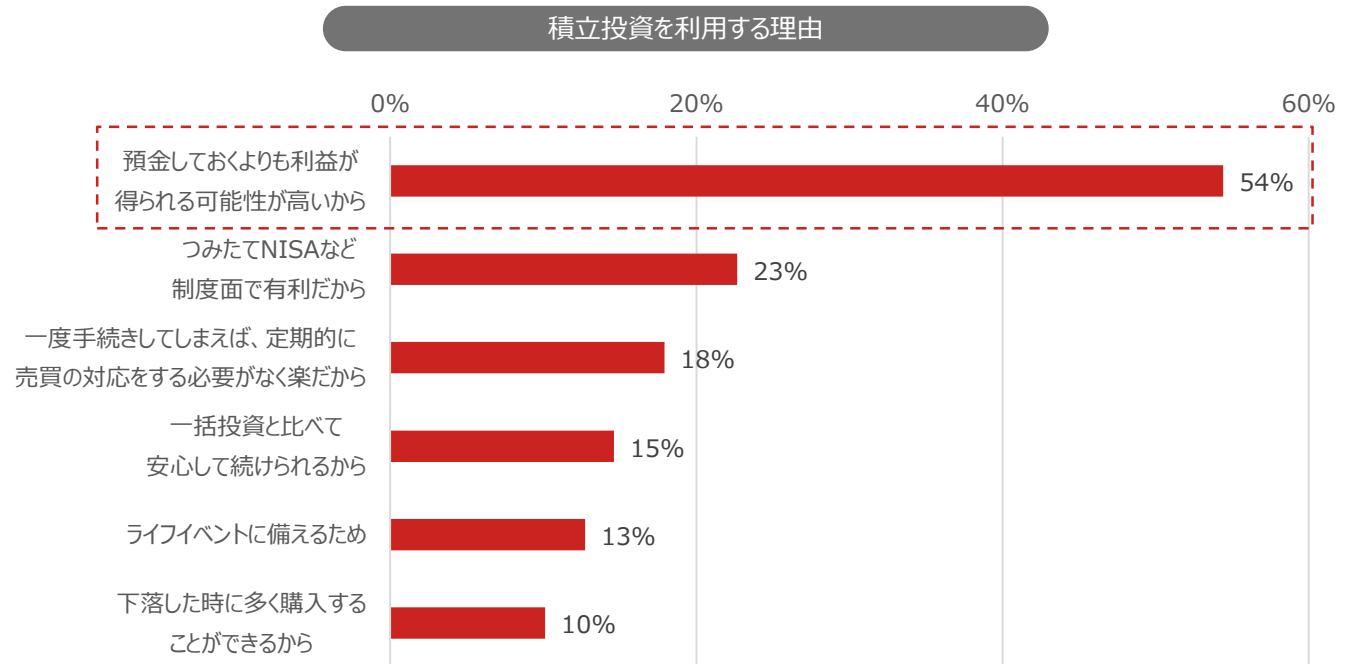
Q) あなたが現在、投信をお持ちでない理由をお聞かせください（複数回答、投信非保有者 n=9,751）



## 積立投資を利用する理由

■ 積立投資を利用する理由は「預金よりも利益が期待できる」との回答が過半数を占める

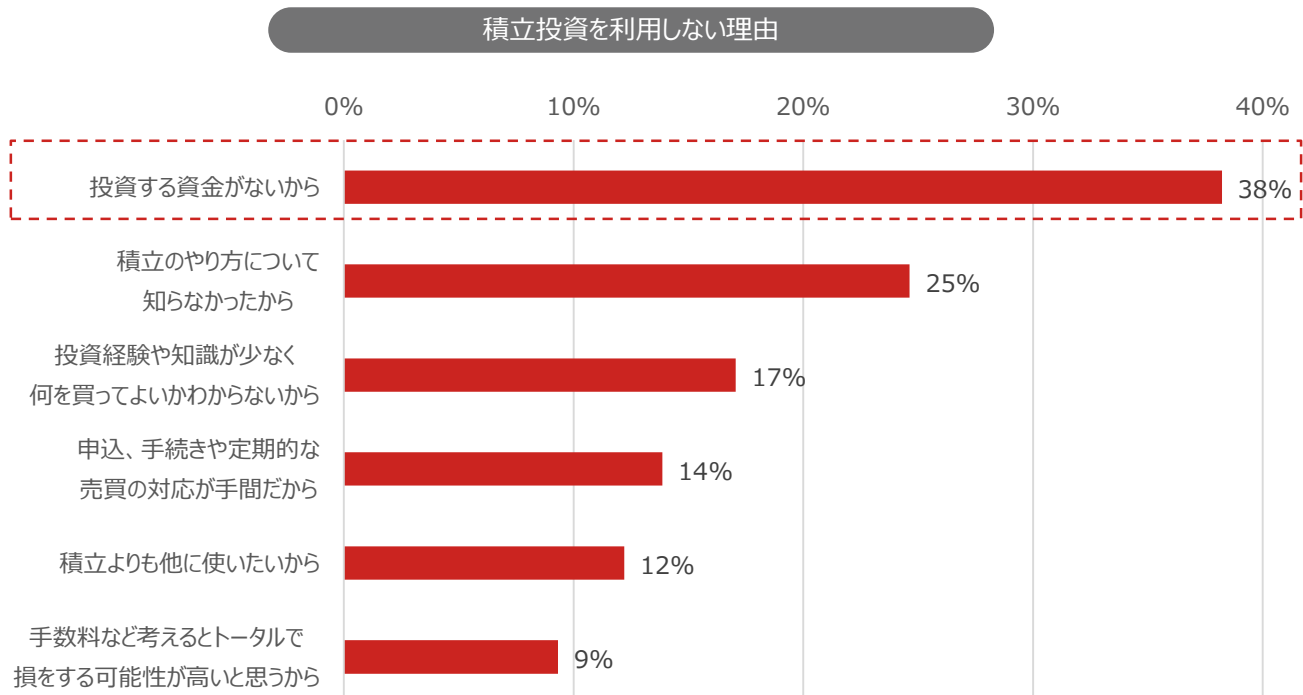
Q) あなたが積立投資をしている（または、していた）理由は何ですか（複数回答、積立投資の利用者 n=11,808）



## 積立投資を利用しない理由

■ 積立投資を利用しない理由は「投資する資金がないから」が約4割を占める

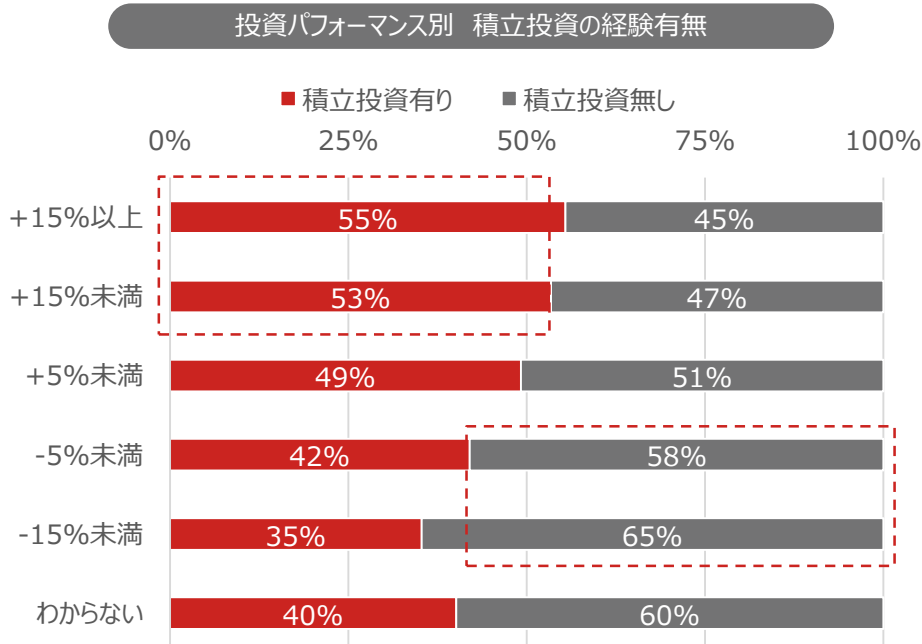
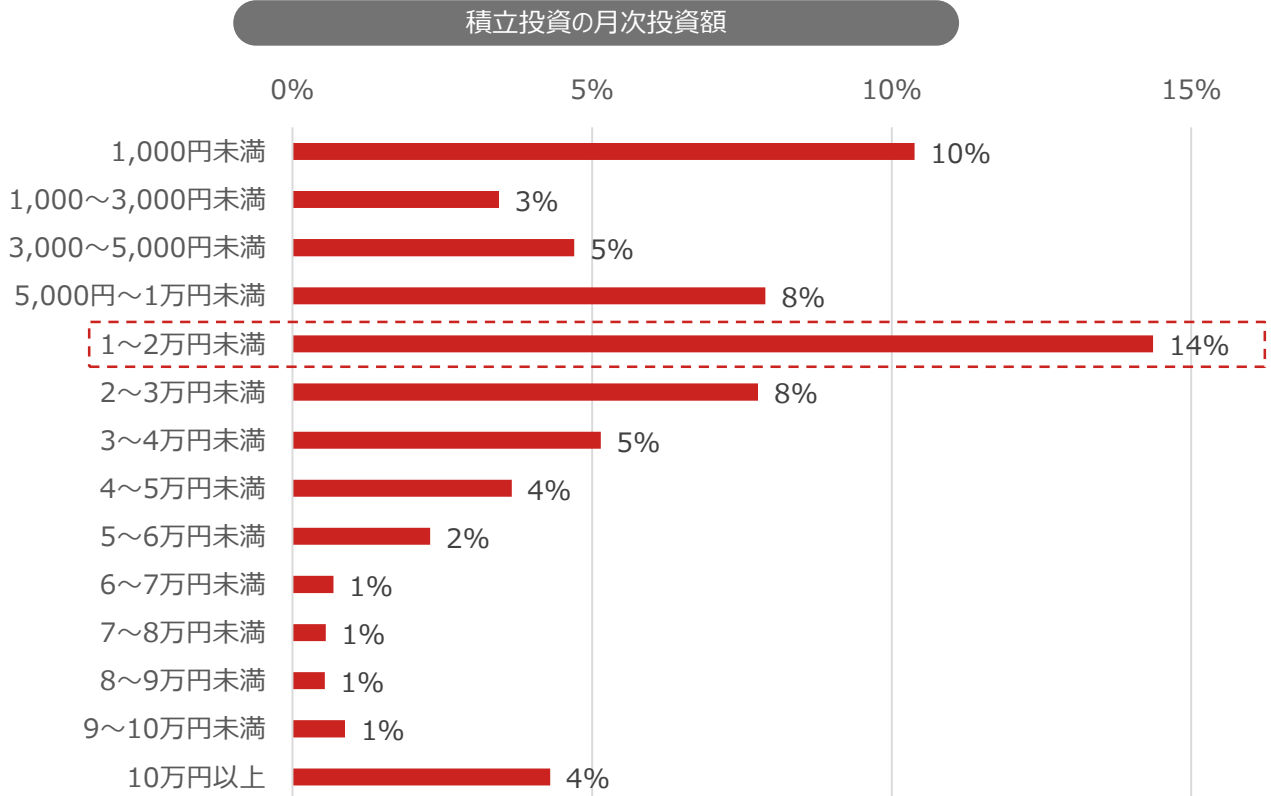
Q) 定期的な積立投資をしたことはない方にうかがいます。それはどのような理由からでしょうか（複数回答、積立投資の非利用者 n=12,345）



## 積立投資の月次投資額とパフォーマンス

- 毎月の積立投資額は、1万円～2万円と回答する人が最も多い
- 投資パフォーマンスがプラス5%以上では、積立投資の経験がある人の比率が高い
- 投資パフォーマンスがマイナス5%未満では、積立投資の経験がない人の比率が高い

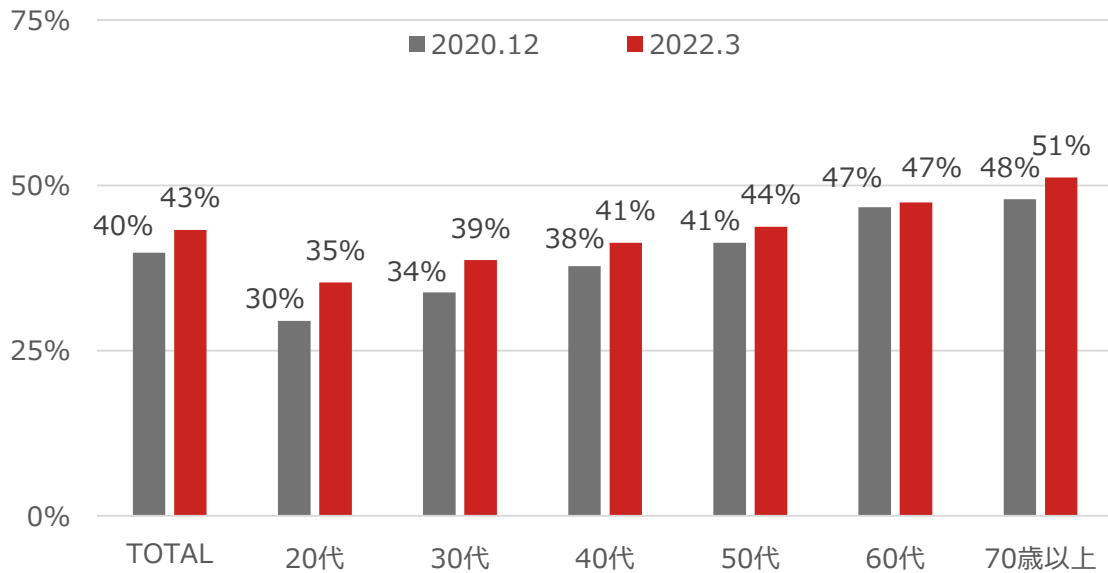
Q) あなたの世帯では、現在または過去に、定期的に積立貯蓄・積立投資による資産形成を行ったことがありますか。行ったことがある方は、その際、積立貯蓄や積立投資にあたって毎月それぞれのくらい貯蓄・投資していますか（いましたか）（単一回答、全体 n=24,153）



## 金融リテラシー調査

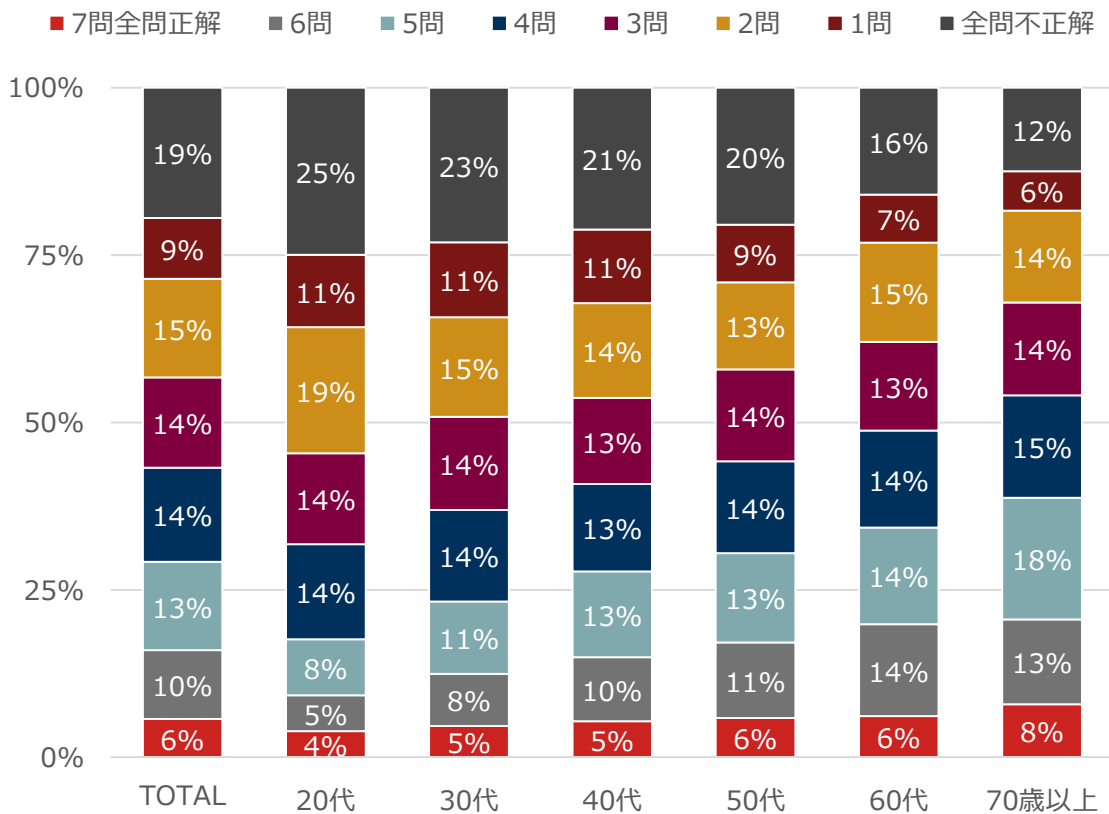
- 前回調査と比べ、金融リテラシー・テストの正答率は、どの年代でも上昇
- 年代が上がるにつれて正答率は高く、全問不正解の割合は低い

年代別 金融リテラシー・テストの正答率（前回調査との比較）



（出所）前回調査の数値は、「投資信託に関する意識調査」（2021年4月2日公表）

年代別 金融リテラシー・テストの正答数



## 調査概要

### ■ 調査目的

投資信託や証券投資支援制度を活用した取組み状況を把握・分析することで、資産運用・資産形成の支援に資する情報提供を行うことを目的とする。

### ■ 調査対象

20歳以上（最高齢は91歳）の男女（調査会社に登録しているモニター）から、アンケート調査を実施。サンプルサイズは24,153。年代別人口構成は、人口統計を反映。

区分	項目	構成比
全体	合計	100.0%
年代	20代	13.5%
	30代	15.1%
	40代	19.5%
	50代	17.8%
	60代	16.7%
	70歳以上	17.3%

（注）合計(24,153サンプル) に対して人口構成比（性・年代・居住地・保有資産種別）でウェイトバックした比率。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

### ■ 調査方法、地域

インターネットによる調査。全国を対象。

### ■ 調査時期

2022年3月22日（火）～28日（月）